

2020年6月3日

整形外科に通院中（または過去に通院・入院された）の患者さんへ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 肘部管症候群患者における術後 Nerve Gliding Exercise の臨床的効果の探索

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] リハビリテーション部 作業療法士 津川亮介

[研究の目的]

肘部管症候群の術後に対して神経滑走練習を実施することで術後の神経再癒着の予防や神経回復の援助になるかを調査することで、肘部管症候群の治療の発展に役立てるため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

肘部管症候群の患者さんで2009年1月から2020年3月において当院で手術療法を施行された方及び2020年4月以降における肘部管症候群により手術療法を施行された方

○利用する検体・診療情報

検体：特になし

診療情報：診断名、年齢、性別、Semmes-Weinstein monofilaments test、動的小よび静的2点識別覚、HADSの不安スコア、Quick DASHの機能障害/症状スコア、Hand20、短母指外転筋の運動神経終末潜時、示指の感覚神経伝導速度、握力健側比、ピンチ力健側比、罹病期間、夜間痛の有無

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 整形外科

香川大学医学部附属病院 リハビリテーション部

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院リハビリテーション部 作業療法士 津川亮介

電話 087-891-2306 FAX 087-891-2307